

2 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要 (詳細は右表を参照)

<米国農務省(USDA)の見通し>

【生産量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

生産量は、カナダ、豪州、インド等で減少するものの、EU、中国、ロシアで増加することから、世界全体では前年度を上回り71.3百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、豪州で上方修正された。

【消費量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

消費量は、中国、インドで減少するものの、EU、カナダ、米国等で増加が見込まれることから、世界全体では前年度を上回り70.7百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、中国で上方修正された。

【貿易量】 2014/15年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

世界全体の貿易量は、前年度より減少し、13.9百万トンとなる見込み。

国別には、輸出国では、EU等で増加し、カナダ、豪州等で減少する見込み。輸入国では、パキスタン等で増加し、中国、EU等で減少する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、輸出国では豪州で上方修正、輸入国では中国で上方修正された。

【期末在庫量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

期末在庫量は、前年度より増加し、世界全体で7.2百万トンとなる見込み。国別には、カナダ、インド等で在庫が取り崩されるものの、EU、豪州等で積み増しされる見込み。期末在庫率は10.2%と前年度より上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体でわずかに上方修正され、国別には、豪州でわずかに上方修正された。

図-1 世界のなたねのシェア(2014/15年度)

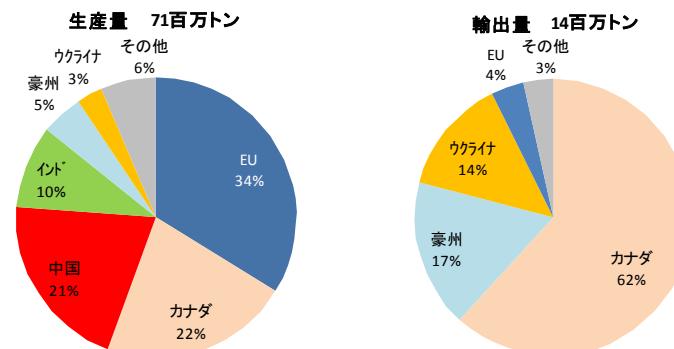


表-1 世界のなたね需給 (米国農務省)

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	63.8	71.2	71.3	0.1	0.2
EU	19.6	21.1	24.1	-	14.1
カナダ	13.9	18.0	15.6	-	▲ 13.4
中国	14.0	14.5	14.7	-	1.7
インド	6.8	7.3	6.9	-	▲ 6.2
豪州	4.1	3.8	3.4	0.1	▲ 10.1
ウクライナ	1.3	2.4	2.2	-	▲ 6.5
ロシア	1.0	1.4	1.5	-	4.4
消費量	65.4	69.4	70.7	0.1	1.9
うち搾油用	62.4	66.4	67.7	0.1	2.0
EU	23.4	24.9	25.8	-	3.7
中国	17.6	19.1	18.6	0.1	▲ 2.9
カナダ	7.0	7.1	7.3	-	3.6
インド	7.0	7.4	7.1	-	▲ 4.1
日本	2.4	2.4	2.5	-	3.4
米国	1.3	1.7	1.9	-	7.1
メキシコ	1.4	1.5	1.5	-	2.8
貿易量 (輸出)	12.5	15.1	13.9	0.1	▲ 7.9
カナダ	7.1	9.2	8.6	-	▲ 6.2
豪州	3.7	2.9	2.4	0.1	▲ 17.2
ウクライナ	1.3	2.2	1.9	-	▲ 15.3
EU	0.1	0.3	0.5	-	82.8
米国	0.2	0.2	0.1	-	▲ 13.9
ロシア	0.0	0.2	0.2	-	1.2
(輸入)					
中国	3.4	5.0	3.9	0.1	▲ 23.7
EU	3.4	3.5	2.9	-	▲ 15.9
日本	2.5	2.4	2.5	-	3.0
メキシコ	1.4	1.5	1.5	-	2.8
パキスタン	0.6	0.6	0.9	-	41.7
アラブ首長国連邦	0.6	0.7	0.8	-	14.3
米国	0.4	0.9	0.8	-	▲ 10.1
期末在庫量	5.1	6.7	7.2	0.0	7.7
カナダ	0.6	2.4	2.1	-	▲ 12.0
EU	2.6	2.0	2.6	-	33.5
中国	0.6	1.0	1.0	-	0.0
インド	0.6	0.5	0.3	-	▲ 38.5
豪州	0.3	0.4	0.6	0.0	47.5
米国	0.1	0.1	0.1	-	▲ 8.5
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 3.5
期末在庫率	7.8%	9.7%	10.2%	0.0	0.6

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」(10 March 2015)

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、15.6百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、7.3百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、8.6百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も13.0%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2014/15年度の生産量は、15.6百万トンと前年度に次ぎ史上2番目の見込み。

作付作業の遅れに加え、2014年9月半ばの降雪を伴う冷涼湿潤型の天候により収穫作業に遅れが生じたが、9月下旬以降、温暖乾燥型の天候に転じ収穫作業が進捗、10月末、主要産地の収穫作業はほぼ終了した。なお、生育及び収穫期間中に続いた冷涼湿潤型の天候により、単収は前年度に比べ大幅に低下する見込み。

カナダ農務農産食品省「Outlook for principal field crops」(2015.2.17)によれば、2015/16年度の生産量は、前年度に比べ3%増加し16.0百万トンとなる見込み。これは、カナダ西部の他の作物に比べなたねの収益性が高いことから、作付面積が2%増加すると見込まれるため。

イ 豪州

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、3.4百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの、0.8百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、2.4百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も17.6%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、生産量、輸出量で上方修正された。結果として、期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2015.2.26)によれば、2014/15年度の生産量は、前年度を9%下回り、3.4百万トンとなる見込み。これは、収穫面積は前年度より2%増加するものの、特に東部地域で生育に不適な天候に見舞われ、単収が低下すると見込まれるため。

我が国の輸入先国シェア1位(2013年数量ベース 93.8%)
世界の生産量シェア 2位(2014/15年度 21.8%)
輸出量シェア 1位(2014/15年度 61.8%)

表-2 カナダのなたね需給(市場年度:8月～翌年7月)

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	13.9	18.0	15.6 (15.6)	-	▲ 13.4
消 費 量	7.0	7.1	7.3 (7.4)	-	3.6
うち搾油用	6.7	7.0	7.2 (…)	-	3.2
輸 出 量	7.1	9.2	8.6 (9.2)	-	▲ 6.2
輸 入 量	0.1	0.1	0.1 (0.1)	-	51.5
期末在庫量	0.6	2.4	2.1 (1.5)	-	▲ 12.0
期末在庫率	4.2%	14.5%	13.0% (8.7%)	-	▲ 1.5

(参考)

収穫面積(百万ha)	8.80	8.01	8.08 (8.08)	-	0.9
単収(t/ha)	1.58	2.24	1.93 (1.93)	-	▲ 13.8

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、

「Oilseeds: World Markets and Trade」、

「World Agricultural Production」(10 March 2015)

AAFC 「Outlook for Principal Field Crops」(17 February 2015)

我が国の輸入先国シェア2位(2013年数量ベース 6.2%)

世界の生産量シェア 5位(2014/15年度 4.8%)

輸出量シェア 2位(2014/15年度 17.2%)

表-3 豪州のなたね需給(市場年度:12月～翌年11月)

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はABARES	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	4.1	3.8	3.4 (3.4)	0.1	▲ 10.1
消 費 量	0.7	0.8	0.8 (…)	-	3.9
うち搾油用	0.7	0.8	0.8 (…)	-	6.7
輸 出 量	3.7	2.9	2.4 (2.4)	0.1	▲ 17.2
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	0.0
期末在庫量	0.3	0.4	0.6 (…)	0.0	47.5
期末在庫率	6.5%	10.4%	17.6% (…)	0.3	7.2

(参考)

収穫面積(百万ha)※	3.27	2.65	2.71 (2.71)	0.01	2.3
単収(t/ha)	1.27	1.43	1.26 (1.26)	0.04	▲ 11.9

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、

「Oilseeds: World Markets and Trade」、

「World Agricultural Production」(10 March 2015)

ABARES 「Agricultural commodities」(3 March 2015)(※ABARESは作付面積)

ウ ウクライナ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、2.2百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの、0.2百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、1.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も9.8%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2015.2.26)によれば、2015/16年度のなたねの生産量は1.9百万トンと、豊作だった前年度(2.2百万トン)を17.6%下回る見込み。これは、不十分な積雪(スノーカバー)にもかかわらず、なんとか冬を乗り切ったものの、経済・財政上の制約から高品質な肥料等の投入が減少し、単収が低下すると見込まれるため。2015年2月中旬時点では、生育不良の状態にあるものが20%と(前年同期:5%)、歴史的にも低い水準となっており、今後の作柄が懸念される。

エ EU

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より増加し、24.1百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、25.8百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、2.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も10.0%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2015.2.26)によれば、2015/16年度の作付面積は、なたね価格の低迷に伴い農家の採算が悪化することから、前年度(6.8百万ヘクタール)を3.6%下回り6.5百万ヘクタールとなり、生産量は前年度(24.1百万トン)を11.7%下回り21.2百万トンとなる見込み。作物はフランスを含む多くの地域で概ね順調に生育しているが、ネオニコチノイド系殺虫剤の使用禁止により、特にドイツ及び英国で、病害虫による被害が報告されている。

世界の生産量シェア 6位 (2014/15年度 3.1%)
輸出量シェア 3位 (2014/15年度 13.7%)

表-4 ウクライナのなたね需給 (市場年度: 7月～翌年6月)
(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	1.3	2.4	2.2	(2.4)	-
消 費 量	0.0	0.2	0.2	(...)	-
うち搾油用	0.0	0.2	0.2	(...)	-
輸 出 量	1.3	2.2	1.9	(1.9)	-
輸 入 量	0.0	0.0	0.0	(...)	-
期末在庫量	0.1	0.1	0.2	(...)	-
期末在庫率	7.5%	2.2%	9.8%	(...)	-
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.55	1.00	0.88	(0.92)	-
単収(t/ha)	2.38	2.36	2.50	(2.55)	-

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「World Agricultural Production」(10 March 2015)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(20 February 2015)

世界の生産量シェア 1位 (2014/15年度 33.8%)
輸入量シェア 2位 (2014/15年度 21.3%)

表-5 EUのなたね需給 (市場年度: 7月～翌年6月)
(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はEU	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	19.6	21.1	24.1	(24.1)	-
消 費 量	23.4	24.9	25.8	(25.7)	-
うち搾油用	22.5	23.9	24.7	(24.8)	-
輸 出 量	0.1	0.3	0.5	(0.6)	-
輸 入 量	3.4	3.5	2.9	(2.9)	-
期末在庫量	2.6	2.0	2.6	(2.0)	-
期末在庫率	10.9%	7.8%	10.0%	(7.6%)	-
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.33	6.75	6.77	(6.79)	-
単収(t/ha)	3.10	3.13	3.55	(3.50)	-

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「World Agricultural Production」(10 March 2015)
EU「Balance sheets for cereals, oilseeds and rice」(26 February 2015)

オ 中国

【需給状況】(詳細は右表を参照)

＜米国農務省の見通し＞

生産量は、収穫面積が減少するものの、単収が上昇することから前年度より増加し、史上最高の14.7百万トンとなる見込み。

消費量は、搾油用需要が減少することから前年度より減少し、18.6百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、3.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度並み、期末在庫率は5.6%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、消費量、輸入量で上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2014/15年度のなたねは、2014年5月末までに収穫作業を終了した。収穫面積は7.5百万ヘクタールと、史上最高の前年度より0.4%減少するものの史上2番目の水準であり、単収は1.96トン/ヘクタールと、前年度より2.1%上昇し史上最高が見込まれることから、生産量は、史上最高の14.7百万トンとなる見込み。

2015/16年度のなたねは、2015年3月上旬現在、揚子江中・下流域以北で抽苔(ちゅうだい)期(花茎が伸びだす頃)にある。揚子江中・下流域以南及び西南地区(チベット自治区、雲南省、四川省、重慶)の大部分では開花期にある。

【貿易情報】

中国通関(海関)統計によれば、2015年2月の輸入量は、前年同月比30.4%減の30.0万トンとなった。国別の輸入先は、カナダが12.5万トンと全体の42.0%を、豪州が15.9万トンと53.5%を占めた。また、2015年1~2月までの累計輸入量は、前年同期比37.2%減の63.5万トンとなった。国別には、カナダが35.6万トンと全体の56.1%を、豪州が24.3万トンと38.3%を占めた。

【その他】

2015年2月2日、中国農業政策の指針となる「中央一号文件」が公表された。

中国国務院(2015.2.4)によれば、同国ではこれまで農家支援の観点より高値での買上げを継続してきた影響から農家の過剰生産を招いた他、割安の外国産の輸入が増加したため、国家備蓄が大量に積み上がる問題を抱えており、この状況を改善する手段として、目標価格制度の導入により市場の需給による価格形成メカニズムの促進を目指すとしている(⇒とうもろこし、大豆の中国【その他】の項も参照)。とうもろこし、なたね、砂糖については、引き続き臨時買上げ・備蓄政策が実施されており、同国政府は、なたねの生産を促進するため、最低価格保証と、耕作面積に応じた直接補助金の支給を行っている。なたねの買上価格の下限は1トン当たり5,100元(9万6,900円)となっており、種子の購入補助金は1ヘクタール当たり150元(2,850円)となっている。

世界の生産量シェア 3位 (2014/15年度 20.6%)
輸入量シェア 1位 (2014/15年度 27.9%)

表-6 中国のなたね需給 (市場年度:10月~翌年9月)

(単位:百万吨)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	14.0	14.5	14.7 (11.2)	-	1.7
消 費 量	17.6	19.1	18.6 (...)	0.1	▲ 2.9
うち搾油用	17.0	18.5	18.0 (15.1)	0.1	▲ 3.0
輸 出 量 (...)
輸 入 量	3.4	5.0	3.9 (4.6)	0.1	▲ 23.7
期末在庫量	0.6	1.0	1.0 (...)	-	0.0
期末在庫率	3.6%	5.4%	5.6% (...)	▲ 0.0	0.2

(参考)

収穫面積(百万ha)	7.43	7.53	7.50 (6.45)	-	▲ 0.4
単収(t/ha)	1.88	1.92	1.96 (1.74)	-	2.1

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「Oilseeds: World Markets and Trade」、

「World Agricultural Production」(10 March 2015)

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(20 February 2015)

写真 中国安徽(あんき)省 抽苔始期のなたね(2015年3月16日撮影)



写真: アイ・シー・ネット(株)